

拠出金名：国際赤十字・赤新月社連盟

国際機関等名	国際赤十字・赤新月社連盟 (英文名称・略称) Internaional Federation of Red Cross (IFRC)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他		
所轄官庁担当局課名	外務省国際協力局人道支援室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成17年度*	299,600	2,800		1\$ = 107円	(2005年)	100
平成16年度**	1,650,000	15,000		1\$ = 110円	(2004年)	100
平成15年度					(2003年)	
*パキスタンにおける大規模地震被害に対するIFRCを経由した緊急人道支援280万ドル(補正予算)。						
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2005年度決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 735,000千CHF		
1位	スウェーデン	60,000	13%	当該年度の支出 521,000千CHF		
2位	カナダ	45,000	10%	次年度への繰越 317,000千CHF		
3位	英国	44,000	10%	会計検査機関名		
4位	日本	34,000	8%	ブライス・ウォーターハウス・クーパース (監査法人)		
5位	ノルウェー	29,000	6%	(現在の構成員の出身国: 英国、スイス)		
上記は、各国政府及び各国赤十字社による任意拠出金の支援総額(2005年1月～12月)の順位と拠出の割合を示すものであり、人的・物的支援や加盟各社の分担金は含まれていない。						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
IFRCは、各国赤十字社の国際連合体であり、自然災害・緊急災害時の被災者及び難民等に対する救援活動を主な任務としている。災害時に各国赤十字・赤新月社間の調整や国際救援活動の指揮にあたる他、各国社の人道機関としての能力強化のための開発協力を実施。スマトラ沖大地震・インド洋津波災害(2004年末)及びパキスタン等大地震被害(2005年10月)においても、人道支援活動に指導力を発揮し、我が国赤十字社を含む各国赤十字・赤新月社間の調整、これら各国社との協力の下、被害者の救援に大きな役割を果たしている。また、2005年11月に近衛忠輝日本赤十字社社長がアジア・太平洋・中東地域担当の副会長として選出されるなど、国際人道支援分野における日本赤十字社との協力関係の更なる促進が期待される。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
2005年11月にソウルで開催されたIFRC第15回総会において、国連ミレニアム開発目標や災害リスク軽減のための兵庫枠組みを支持し、①災害時の死者・負傷者と被害の減少、②公衆衛生上の危機対策の強化、③生命・財産への脅威に対する赤十字のコミュニティにおける機能の充実、④差別や偏見との闘いの4点を各国赤十字・赤新月社の共通の課題として採択し、共通の目標に向けて各国社間の協力を促進することにより、事業の一層の合理化、質の向上、機能の強化に向けた取り組みを行っている。						
邦人職員数 うち幹部以上	4人 うち 1人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		687人 0.58%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
アジア太平洋災害マネジメント ユニット長		粉川 直樹				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。

**スマトラ沖大地震及びインド洋津波被害に関するIFRCを経由した緊急人道支援(1500万ドル(予備費))。